

■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

東京桑野会会報

●昭和60年9月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒101 東京都千代田区内神田2-10-2 不動前ビル5F

6



- ① 桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生の親睦の会であること
- ② 会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③ 何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

昭和60年度総会挨拶

東京桑野会会長 澤田 悌



総会開催に当り一言ご挨拶を申し上げます。

昨年9月母校が創立百周年を迎えまして、桑野の学舎において盛大な記念行事が行われ、東京地方在住の同窓生も多数参加いたしました。東京桑野会におきましても昨年7月14日定例の年次総会の機会に祝賀会を催し、嘗てない多数の会員のご出席と母校及び安積桑野会の代表の方々等多数の来賓のご臨席をいただきまして慶びを共にいたしましたのでありますが、早いもので、今日本年度定例総会を迎えることとなりました。多数の会員の方々が元気にご出席下され誠に同慶の至りに存じます。

又母校からは影山先生、松尾先生、安積桑野会からは渡辺幹事長が遠路おいで下さいまして、厚くお礼申し上げます次第でございます。

百年に一度の記念行事を相済ませたのちの本年からは、東京桑野会といたしましても、いわば平常の年にもどったわけですが、昨年のあの盛り上りを平常年の会の充実と発展のために、しっかりと定着させてゆくことがこれからの会のあり方として最も大切なことではないかと考えます。従いまして、本年は役員

改選期にも当りますが会員のご期待に応えますために、一層充実した新役員陣の活躍が望まれる次第であります。

それから会の一層の発展のためには、新制高校卒の若い世代の人々の入会が各年次に亘って更に増加することが肝要だと思います。そのためにはこの会を若い人々にとっても魅力あるものにしてゆかなければならない。新年度にはこの点に大いに工夫努力をいたしたいと存じます。会員の皆様のご協力をお願いいたす次第です。

最後に、誠に悲しいご報告を申し上げなければなりません。永年東京桑野会にご尽力下さいました前会長の壁谷祐之さんには、昨年12月25日逝去されました。鶴見総持寺におけるお通夜及び葬儀には会長外多数の役員、会員が参列いたし、心からお弔い申し上げてまいりました。壁谷前会長はご承知の通り第31期卒の大先輩であり、今後も名誉会長としてご指導下さることを期待してお方でありまして、本当に淋しい限りであります。謹んでご冥福をお祈りいたします。

以上をもって私のご挨拶を終わります。

澤田会長の叙勲を 讃える

45期 矢吹 陸郎

この春の叙勲でわれ等の沢田会長が勲一等瑞宝章に輝きました。

安積として、少なくとも福島県生れの同窓生としては初めてのことであり、桑野会特に東京桑野会の誇りとして会員一同心からお祝い申上げる次第です。

この荣誉は御本人の才腕と努力の結晶ですが、これに到るまでの幸子夫人の内助の功は勿論、御両親の今は亡き元須賀川第一小学校長の幸蔵先生夫妻の御丹精や前須賀川市長の令兄三郎氏他のごきょうだいの応援の賜であり、御本人始め御一家御一門のお喜びは拝察に余りあることと存じます。

沢田会長は安積42期で須賀川からの汽車通学生で同期生には同じく俊才の誇れ高かった故齊藤 実さんや故柳沼 久弥さんがおられたがお二人共生存されていたらどんなにかこの度の級友の荣誉を喜んでことでしょう。

沢田さんは安積を出てから浦和高校・東大法学部を卒業して日本銀行に入行しホープとして大蔵省にも出向して大成を期待され、終戦後は元日銀総裁の佐々木さんとのコンビで日本経済の復興にその手腕を振り、熊本・神戸の支店長をつとめてから本店の総務部長や営業局長を経て日銀理事となられたのであります。オール日銀のチャンピオンとして当然日銀総裁となることを期待されたのでありますが、時に利有らず、大蔵省の空前絶後の名次官といわれた森永貞一郎氏との競いで残念ながら彼にそのポストを譲ったのであったが、天は大器を野におく筈もなく、その後直ちに関係各省の次官クラ

スが占めるべき国民金融公庫総裁等のポストを次々と見事な実績の裏付けをもって、到るところで部下の面々に慕われながら関係者には勿論第三者も認めざるを得ない輝かしい足跡を残したのが今回のこの荣誉に結びついたのであります。

住宅公団では行革のハシリともいうべき都市整備公団との合併をやったのけて後進に道をゆずり、今は古巣の金融機関関係の要職短資協会長として氏の円満なお人柄とその経歴手腕をもって大御所的存在として各界の信望を集めておられる。

こんどの叙勲をステップとして更に今後健康に留意されていつまでもわれわれのシンボルとして御活躍の程を祈ってやみません。

同時にわれわれ会員も会長のこの荣誉をはずかしめないよう夫々の立場で頑張ってますます仲良く楽しい会としてやってゆこうではありませんか。

附記 (1)本年度の東京桑野会総会直後の叙勲発表であり、且つ会長御自身の意向もあったので会全体にお知らせすること無く、新役員会の席を兼ねて内祝いの祝賀会をもちましたことを御了承下さい。



「安積健児」の像

(2)その席で有志役員一同として会長にお祝いの印を、ということで母校百年祭に文化財校舎の前に出来た「安積健児」の像を、ということになり製作者の45期佐

藤静司さんをお願いしてブロンズ・レリーフを制作していただき会長に贈呈し大へんよろこんでいただきました。

(東京桑野会副会長)

増子正宏君の叙勲を 祝う

43期 鎌田 正二

安積第44期の増子正宏君が、この秋の叙勲で、勲二等旭日重光章を受けられた。まことにおめでたい限りである。

増子君は、双葉郡上岡村の生れで、小学校は福島第四小学校、中学は安積中学校、高校は第一高等学校、大学は東大法学部の卒業で、昭和13年厚生省に入り、島根県や大分県の商工課長をへて、昭和17年厚生省事務官、昭和22年には初代の福島労働基準局長になられた。その後経済安定本部労政課長、京都府民生部長兼労働部長、山梨県総務部長などを歴任ののち、昭和32年には総理府公務員制度調査室長、38年には恩給局長、40年には人事局長をされ、昭和42年より人事院事務総長の重責を担われた。

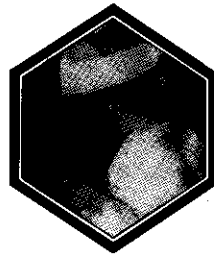
昭和48年に官界を去られたのちも、そのご経験で公務員行政の要職をつとめられ、現在も恩給審査会委員、川崎市教育委員会委員長、東京家庭裁判所調停委員などをされ活躍中である。

このたびこれらの功績により勲二等の叙勲となったものである。増子君は昭和7年(第44期)の安積中学卒業、小生より一年あとで東京桑野会の会合などでは、小生が先輩づらをしているが、一高は逆に増子君の方が一年先輩となり、ここでは小生が先輩の礼をつくしている次第で、これは主として頭脳の差によるものであろう。このたびの叙勲を受けられたことに対し心からお祝い申上げる次第である。

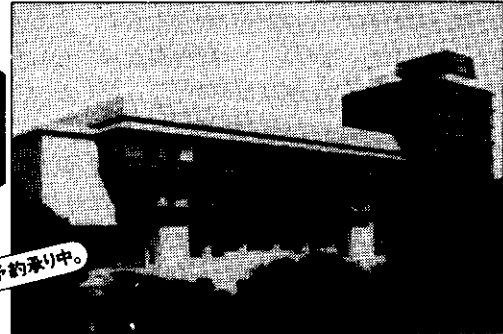
渉外担当支配人
竹花則栄(55期卒)

CHINZAN SO
精山荘
東京都文京区関口2-10-8
☎03(943)1111
📍藤田観光

- 大小23のご披露宴会場。
- 800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
- 庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
- チャペルでの挙式もできます。
- 最新機能の音響・照明設備。



只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。



華やかな「宴」のとき。

長寿の秘訣

25期 後藤 憲平

桑野を出てより73年になります。其間何等な事無く徒らに年を過ぎて来ましたが、何んとか人様に伍して生活出来る様になりましたのも比較的健康的に恵まれあらゆる苦難に打ち勝つ精神（安中気風）を植付けられた結果に外ならぬ事と思います。特に此の健康な身体を生み強く育ててくれた両親に特に感謝せねばなりません。東京桑野会の皆様私は91才の今日迄、まあまあ元気であと15年、21世紀迄3世紀に涉り生きぬく野望を持って居ります。但し寝たきり老人では困りますが以下今日迄の少年時代よりの歩みを書き並べますが、今後の皆様の健康管理に少しでも役立てば幸甚です。

1. 小学校4年間（7才-10才）日中故郷の山野を飛びまわり冬は下駄の下に竹片を張りつけ道路をすべり廻り自然に足腰を鍛へた。

2. 高等科4年間（11才-14才）故郷に高等科無き為郡山市金透小学校入学其間2年下宿自炊毎土曜日午後より5里（20軒）を徒歩にて帰省、翌日午前中山遊び午後徒歩にて帰る4年間殆んど欠かさなかった。

3. 安中時代5年自炊2年寄宿3年毎土曜日帰省は小学時代より続けたし安中気風の盛んな時代でもあったし勉強より暴れる方が好きで剣道部に入部3年より正選手として寒稽古には朝3時より30番も毎日続けた（試合にはいつも負けてばかりいた様だった）2年の時1年間野球をやったが一流になれそうも無いので止めてしまった。特に中長距離の競走には抜群の強さを誇って居ったが特別競技

が無く実力発揮未だしと云う処であった。野村浩一校長赴任により45年10月（5年生）第1回マラソン開催3年以上全員須賀川小学校校庭より本校門前迄（18軒）2位に9分の大差にて優勝（午前中須賀川迄遠足帰途草履ばきで上衣を風呂敷にてつつみ背負のスタイルで）後講堂にて校長より祝福を受けた。其校長排斥運動の先頭に立って居ったのを思へば誠に感慨無量である。

4. 東北帝大工学専門部土木工学科時代3年間は走る事を少々やった位で社会人となつては専業が土木である為机上の仕事よりも測量其の他の為め山野を歩きまわる事が多く山登りも時々やり足腰の鍛練には大いに役立ったものと思われる。小生元来の大酒飲であったが冬場炬燵にあたって酒ばかり飲んで居っては健康に良くない。何か運動をと考えた結果スキーを始める事にした。36才の時である当時鉄道省奉職高山線の建設に従事して居り43才退職する迄熱心にやった。

5. 其後上京兄の没後の小工場を経営するに当り其多忙さと戦争突入戦災終戦長女の病死などであらゆる苦難を重ねましたが、何んとか再起今日ある事の出来たのも父の厳格なるしつけと安中の気風に育った事が生かされたのではないのでしょうか。事業再会各方面の方々の支持を受け何んとか軌道に乗った処で23年1月より改めてスキーに取り組み、26年2月に指導員の資格も取り42年3月（数へ年74才）右足骨折ある迄冬期毎週2、3日はスキー場に居った次第です。

6. 35年8月友人に契められゴルフを始めましたが年配からのスポーツとして最適なものであり其上自己の精神修養あらゆる方面の人々と交遊等に大いに役立つものと感じ現在迄練習もやり毎週スキーにも出る様に努めて居ります。

以上小生のスポーツ歴を書き上げましたが今日迄健康である原因の大半は以上様運動を長く続けた事にあると思われまます。皆様にも此の事実を参考にして自分の身体に合った運動を選び、健康な生活を送り、長寿で社会で御活躍される事を願います。尚小生の長寿（と云うのは未だ早いかも）に役立って居ると感じられる事項を書き足して終りといたします。

- 1.喫煙を止めた事（大正12年9月18日それ以前10年間のヘビースモーカー）
 - 2.初老期より肉食を止めた事
 - 3.五年程前よりビタミン類を充分にとる様に健康食品も大いに食することにした
 - 4.酒類は適当に
 - 5.隠居しない事
 - 6.土に親しむ（少々野菜作りをして居る）
 - 7.空気の汚染の少い処に住んで居った事
- 以上

思い出

43期 赤城 海助

私は会津の喜多方で生れたが小学校2年の時当時郡山町の叔父のところへ養子に行ったので金透小学校から安積中学（桑野村）に学ぶ幸運に恵まれたのである。昨年暮に常幹の長谷川さんに云はれて会員の義務と思ってお引受けしたものの年末正月新年挨拶等公私多忙に追われ28日締切の前夜久し振りに勉強一夜漬となったわけである。

1. 安中時代は殆んど剣道に明けて剣道に暮れたような気がする。柴野安齊両先生や鈴木隆（現在佐藤）柴原六郎（故人）遠藤正弥（相馬で健在）三本木貢治（東北大教授から川鉄専務）の諸君が剣友で外に天野悟市、馬場正男、内藤万寿雄君が遊び仲間だった。

他校との試合を終えて郡山駅に着くと

安全日本一をめざす

石打丸山 スキー場

株式会社日本リフト・サービス

東京事務所：東京都中央区銀座7-5-12

取締役会長 後藤 憲平（第25期）

（スキー場案内専用03-571-5444）

市内の通学生の歓迎を受けて勝っても負けても天地精気を歌ってもらったものだ。したがって学校の成績はいつも真中で勉強より道場通いなので当然であると平気だった。特に二年上の会長の兄さんには随分教えられたし有難かった。

2. 早稲田時代は下宿が高田馬場から西武沿線が多かったので新井薬師の桑野寮には古川清一、安藤春重君をたづねてしばしば行ったが前者は故人となられ後者は郡山で画家兼幼稚園長をしておられる。また親の代から会計事務所を営んでいる永戸清雄君（故人）がとても桑野会に熱心で彼は明大だったがよく飲んだり玉突きをして遊んだ仲だった。

新井薬師の桑野寮は20年の大空襲で焼けた上に寮母のおばさんは寮生と逃げる途中で直撃を受け即死したとか後で桜井啓太郎君（須賀川）に聞いて何とも云えない悲しさといきどおろを感じたものだった。

早稲田の桑野会も春秋2回新宿のおでん屋の2階などで教授学生いっしょになって大いに痛飲したのを覚えている。特に中桐雄太郎先生は論理学の大家であって酒を飲むと若い者をうっとりさせる恋愛哲学の先生でもあった。思い出して愉快である。

3. 社会人になったのが昭和12年4月今の日通の前身国際通運に入って翌年早くも軍隊へ満州へ渡りノモンハンの戦争にも出たが無事15年秋帰還その後丁寧にも二度応召したが五体満足で終戦日通復帰となり各地を転勤（赤紙のかわり）してやっと43年東京本社に落着いて56年から現在（興亜）までにグランドシニアながら元気である。最近の交遊者は鎌田、荒木、内藤、菅野清助（以上同級）の諸君で天野、佐藤隆君とは久しく会っていないが健在らしく近く会いたいと思って

いる。

昨年沢田さんが会長になられ新しい役員もきまりご同慶の至りである。私も沢田さんとは日銀課長時代からおつきあいを頂いている全く頼りになる方でありまた以前からゴルフの好敵でもあり近くチャレンジすることにしている。

今後の桑野会は沢田会長の云われるように互いに親しみ合って仲良く頼りになるような楽しい会に発展してゆくことを心から祈ってやみません。役員の方々ご苦労さまです。よろしく願いいたします。

荒川秀俊先生を偲ぶ

51期 島田 守家

昨年の12月23日、東海大学教授荒川秀俊先生（37期）が心不全のため77歳で亡くなられた。先生は気象学者であった。同じく気象を志した後輩として不肖私が一文を草し先生を偲びたい。

先生は白河出身で、安積中学から二高、東大物理と進み、昭和6年卒業と同時に中央気象台（気象庁の前身）に入った。昭和43年気象研究所長をもって退官後東海大学教授となって今日にいたった。昭和52年勲二等瑞宝章を受けられた。先生が入った頃の中央気象台には東大から何人かの人達が入っており、気象学のそして気象業務の発展揺籃期を迎えてそれぞれ華やかに活躍していた。なかでも荒川先生は極だつて若い秀才であった。やゝ細身の身体に野口英世風の少し乱れた髪、知的な顔に大きな眼はいかにも秀才にふさわしい風貌であった。私は気象大学校（当時は三年制専門学校、気象技術官養成所）の三年生で先生から大気熱力学を教わったが、学生にとって30才代の若き気象学者は尊敬とあこがれの的であった。

今でこそ大学院卒なれば30才そこそこの博士もあり得るが、当時30才代の博士というのは大変な秀才であった。先生の気象学における功績は、当時気象学はまだ現象を記述するにとどまっていたが、先生は大気熱力学と大気力学を導入して気象学を物理学的なものにしたことにある。つまり、今日の気象学近代化、ひいては気象予報近代化の基礎をつくったのである。時に1930年代であった。いまもよく使われているシベリヤ気団などという言葉も先生の命名である。先生についてのジャーナリズムの関心は風船爆弾の考案者ということのようで、朝日新聞の「人国記」などもそのようにとらえている。しかし前述のように気象学を近代化したというのが正しい認識である。

先生は大気物理学ばかりでなく歴史に対しても大変な興味を示され、その方面でも数々の業績をあげられた。そもそもは災害の歴史や気候の歴史を調べるのが手はじめであったようだが、後には気象とは関係のない分野にまで手をのびされ、晩年はむしろ歴史学者であったようだ。各地の市史編さん委員などを勤められ、最後のお仕事はご先祖の地栃木県壬生町史の編さんであった。完成を見ずに亡くなられたが、最後まで「大学教授」でおられたのはよかったと思う。

さて、先生の安積中学時代はどうであったろうか。私の亡兄島田敏一郎（40期、富山薬専卒、薬剤士）は私に三年先輩に荒川秀俊という秀才がいたと言っていた。20年以上も前のことになるが、朝日新聞の企画「わが母校を語る」シリーズの一つとして先生が安積中学校を書いた。この中で先生は、五年間白河から通った苦勞、暗いうちに起きて食事の仕度をしてくれた母への感謝や、立派になった同級生達の事などが各文で書かれていた。先



●掛け金が貯蓄にもなる
積立保険 長期総合保険

●安心と貯蓄の5年プラン
積立ファミリー交通傷害保険

●6つの保険を1つにセット
自家用自動車総合保険

●住いと暮らしの
安心バック
住宅総合保険+家族傷害保険

まさか!のために
興亜火災

取締役会長 赤城海助 (第43期)

本社 〒100 東京都千代田区霞が関3-7-3
☎(03)593-3111(大代表)

生は、安積から二代続いて京大総長（新城新蔵・小西重直）を出したことや、日本人としてはじめて外国の大学（エール大学）教授になったという歴史学者朝河貫一が存在が心に大きく残っていたようである。先生は外遊の際に朝河貫一の墓に詣でている。荒川先生が安積に学んだ頃（大正末期）から昭和はじめにかけてが安積の精神が最も昂揚した時代でなかったかと思う。先生が生まれた明治40年は日露戦争後で、日本全体が充実していた時代であった。この時代に生まれた人達には各方面に人材が多いようである。人材が輩出するにも時代背景があるように思われる。

日本の気象学は中央気象台において育ったのである。昔は大学での気象学の講義などはなく、物理を学んだ人達が気象台に入って気象学を“創り”、各大学に帰って教室をひらいて、そこで気象学を講じ、かくして気象学研究の体系が出来たのである。先生はその大本の真芯を進んだ方で、最近人間社会に多くのインパクトを与える要素として重要視されて来た気象学の基礎をきづいた大科学者である。安積は昔から、他の分野に比べて、医者のをのぞいては自然科学へ進む生徒は少いようである。今後多くの生徒が自然科学の分野へ進んでくれることを願っている。

ちなみに、先生の父上は獣医であったと承っている。奥様のご両親は軍人と大学教授、先生のご長男は浜松医大教授、次男の方は歯科医という学者一家である。しかし先生には、お若い頃にはダンスの名手で、退庁時にはダンスシューズを手に、当時の風俗であった一流のダンスホールによく通ったという一面もあったそうである。（東海大学講師・元横浜地方気象台長）

＜読売新聞編集手帖 59年12月25日＞

今月に入って、訃報が続く。クリスマス寒波が日本列島付近に張り出して来た23日には、元気象庁気象研究所長の荒川秀俊・東海大学教授が亡くなった◆福島県郡山市の安積中学受験に合格した日の帰途、小学校の恩師「大木友治先生が一年生の教科書を全部買って下さった」と書いている。郷里に中学はなく、家も貧しかった。断念していた進学を勧めたのが大木先生で、両親も先生の熱情に動かされて入学を認めた、という◆気象庁時代の恩師が、お天気博士として知られる藤原咲平氏だった。昭和17年、荒川さんは軍部に「風船爆弾」の採用を提言する。高層気流に乗せて風船を飛ばし米大陸を攻撃しようという奇抜な発想だった。翌年、軍は採用に踏み切るが、後にこれが博士の公職追放につながる◆荒川さんは悩んだ。戦後の22年、気象台を去った博士に東京・世田谷の自宅を提供、自分は家族とともに親類宅に身を寄せていた時期がある。25年秋、博士死去。荒川さんにあてたザラ紙に墨書きの遺書があった。論文をまとめるについての留意点が書かれていた◆四年かかって、荒川さんは博士の研究「諏訪湖の結氷と御神渡り期日表」を完成した。四年前、話が風船爆弾のことに及んだ際「台長を通じて（提言を）したのが……」と言ったとき、荒川さんの語調が突然乱れて絶句したと、取材した記者から聞いたことがある◆30年、世界の気象異変の主因は、原水爆の実験にあると主張した。当時としては、気骨ある発言だった。＜熱い血を持つ科学者＞だった。

安積野

46期 津田 亮一

郡山の金透小学校の裏手に住んでいた。金透と如法寺の間に勾配の急な坂がある。片側は鬱蒼と茂った墓地である。金透小学校を横目でにらみ、坂を駆けおりて、^{よろずや}萬屋という魚屋の横丁を通り抜け、低い家並の町町を幾つか横切って、わざわざ遠くの第三小学へ私は通った。今はたばな小学校というのだそうだ。父が私の金透小学校に入ることを拒んだからである。父は金透小学校の校長であった。校長の息子では、まわりから甘やかされると思ったのである。私は第三小学校へ行くより仕方がなかった。小学校は三つだけで、金透は男子ばかり、第二小学校は女子ばかりで、第三小学校が男女共学だったからである。といっても机を並べたわけではない。男と女のクラスは別別で、ここで母は女生徒たちを教えていた。教え子は永山藍子の母がいた。第三小学校に来てみて女先生の息子では、父の学校へ行くのと、さして変りがなかったのではあるまいか。

私は紺がすりの着物で、袴をはいて、袴のひもに玄関の鍵を結えつけていた。大正の鍵ッ子であった。鍵ッ子のはしりかも知れない。隣りの家は子沢山でにぎやかだったから、たそがれの中を濃紫の袴をはいた母が帰ってくるまで、隣家で遊んだ。私より三つ年下のおとなしい娘を頭らに、泣虫の弟、お転婆の妹、まだよちよち歩きの弟、妹と続いていて、私は泣虫の弟の三輪車を押してゆったりして近所の子供たちと遊んだ。三輪車は高級に見えた。後年、細沼町というこのあたりを歩いてみたことがある。私たちが

営業品目

- 産業廃棄物の処理
- 一般廃棄物の処理
- 産業廃棄物の加工

市原不燃物処理株式会社

〒290 千葉県市原市五井 2887 TEL 0436-21-6308

代表取締役 鎌田正二（第43期）

陣取りや、電信柱から電信柱へ駆けっこをして遊んだこの通りが、こんなにも狭かったのかと、私は嘘をつかれたようにがっかりした。

私たちは第三小学校で六年間、ただ一人の先生に教わった。のんびりした時代だったのかも知れない。阿部昇先生といた。めがねをかけ、学校中で一番背の高い先生であることを、私たちは何より誇りに思った。いまのように学習塾などはなかったから、六年生になると先生は親身に心配して、中学へ進学する生徒を6人、夜、自宅へ呼んで、そっと受験勉強をしてくれた。勉強が終ると小柄な奥さんがきまってお砂糖湯を飲ませてくれた。凍てついた暗い町に下駄の音を響かせて帰る途中に、芝居小屋のみどり座があって、薄暗い街灯の中にぼんやり浮き出た絵看板がこわくて、身ぶるいした。阿部先生が面倒をみてくれた生徒たちは、幸いそろって安積中学に合格した。

発表の日は不安で、1人で安中へ見に行った。よく晴れた日であった。郊外の赤土の道を歩いていると、見知らぬ小柄な生徒が「発表を見に来たのかい」と私を振り仰いだ。「ウン」「どうだったの」「はいていた」と答えると、「オレも」と急に顔をほころばせた。誰かと喜びを分け合いたい顔であった。にわかに親しさがこみあげてきた。「オレ、柳田、よろしく」と彼は大人ぶって頭を下げた。野に春の香りがむんむんしていた。その時、入学できてよかった、と、しみじみうれしさがこみあげてきた。

母に連れられて安中の菊池沖之介先生の清水町の家へ挨拶に行った。奥さんが第三小学校で母の同僚だったからである。口髭を上品にはやして、英語を教えるという小柄な先生は、品のよい英国紳士のようにハイカラに見えた。令息が金透小

学校からことしやはり安中に入ったから、よろしくと、清君をひきあわせ、短冊にたっぴりな筆の字で「上がれ風 筑波根越へて 富士越へて」と書いてくれた。

前途を祝ってくれたわけである。英国紳士と短冊とのとり合せを、私はオヤと思った。

一学期の間、私たちは着物に袴をはいて、安達太良山を右に見て、遠い道のりを編み上げ靴で通学した。白線のはいた学帽と編み上げ靴がピカピカの新入生の誇らしいスタイルであった。開成山の桜も散って、葉桜が水に濡れたように光っていた。下校の途中、近所の5年生の大関先輩とその友人たちに連れられて、開成山の丸池でボートを漕いだ。5年生はもうすっかり一人前の大人に見え、仲間に加えられたのがうれしかった。池をめぐって競馬場になっていて、ときどき草競馬が行なわれた。私は先輩の注意を忘れてボートの中で立ち上り、ぐらりときた拍子に袴に脚をとられ、あっという間に池に転落した。が、先輩たちの手が伸びて私はすぐ引き揚げられ、とにかく着物を乾かさなければ、と、ボートを池の真中の声の生い茂った小さな島につけた。私は素ッ裸かにされ、着物と袴と下着を30坪ほどの小島の草むらにひろげて、乾くの待った。先輩たちは私の裸かを自分たちの学生服でくるんでくれたけれども、春の夕べの陽は淡く、肌寒く、着物はなかなか乾かなかった。

二学期から制服を着た。一年生の時の記念写真をみると、由緒ある明治建築の玄関を背景に、みんな詰襟の真っ白いカラーで、担任の国語の佐藤勝一先生は陸軍大尉の軍服を着て、勲章を下げ、自慢のカイゼル髭の口元をきッと結んでいる。式典のある日は軍服を着る例で、現役時代、単身、厳寒のシベリア横断をしたこ

とが大の自慢であった。夜は原住民の家に泊めてもらい、人里離れた無医村で、薬を乞われ、歯磨粉を分けてやって、すっかり崇められた話。文明の薬など見たこともない相手だから、ライオン歯磨粉でも、ほんとうに効くもんです。と、何度も聞かされた。

三春や松川まで野球の応援にも出かけた。父の学校の斎藤喜蔵先生の令息、哲郎さんは5年生で、野球部の選手であった。名外野手で、ある時、とても捕れそうにないフライの球を、横ッ飛びに跳び上って、うまくグローブに収めた。敵味方の応援団も見物人も、みんな立ち上って拍手をした。テレビでプロ野球の外野手が見事なプレイをしたりすると、いまでもあの時の哲郎さんの水際立ったプレイを思い出す。

隣りに住んでいた娘は、終戦後新聞記者をしていた私の前にひょっこり現われて、私の家内になった。意外だったのは、おとなしい娘だった筈なのに、結婚してみたらなかなかの意地っ張り、でもまだいっしょに暮らしている。

福祉工学

90期 梅津 健一

私が現在の職業すなわち社会福祉を志すようになったのは、大学の工学部3年生の終わり頃であるから、そう古いことではない。ましてや安積高校在学時などは、福祉のフの字も知らない、ごく普通の高校生であった。大学入学後も、これといって人生に目的をもつわけでもなく、いわゆるノンポリ学生であった。

そんな私が福祉に、そして自分の学んでいる工学と福祉とのかかわり合いに興味を抱くようになったのは、ある晩、両

騒音・振動・超低周波

- 現況調査 ○予測計算 ○防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学
電子・機械 繊維 機械 紙パ
自動車 造船 食品



東豊エンジニアリング株式会社

〒108 東京都港区港南 2-4-7 (石橋ビル)

電話 03-471-5891 代表
代表取締役 鈴木健生 (第48期)

下肢を切断した人が車椅子で歩道の段差を上る練習をしているところを偶然見かけたことがきっかけである。考えてみれば、この世の中には、健全者にとっては便利であっても、障害者や老人、子どもなど弱い立場にある人にとっては不便であるような機械や建造物などが多いように思える。それらを設計、製作する技術者はもっと福祉を真剣に考えるべきである。これからは、工学の分野には福祉的な考え方が導入されなければならないだろうし、逆に社会福祉においては工学の力が必要となるのではないだろうか。そんなことを考えていた頃、私は、これも偶然にねむの木学園長の宮城まり子先生の著書を書店で見つけ、画期的で斬新な社会福祉を確立させようとしている人間の存在を知った。そしてその瞬間、私は「これだ」と感じた。福祉から工学へのアプローチ、及び工学から福祉へのアプローチをはかること、福祉と工学とを融合させ、「福祉工学」とでも名付けるべき学問の体系を確立させること、これを自分の一生の仕事と決定した。

福祉工学は、実践的な分野と、理念的な分野とを有する。

実践的な分野とは、この世の中で弱い立場にある人々すなわち障害者、老人、児童などのための機械や器具、建築物などを研究、開発する分野である。工学は、人間の限られた能力を補うためのものであるといえるが、これらの人々は特に、健全者に比べて肉体的あるいは精神的なハンディを背負っている。したがって、そのハンディを克服するために工学を用いるのであり、それには医学など他の科学からの援助が当然必要になるだろう。

次に理念的な分野とは、いわば工学の哲学ともいえる分野である。工学は、本来人類の福祉につながるものでなければ

ならないはずであるが、一度使用法を誤れば、福祉どころか人類を不幸のどん底に落とし入れる恐れもある。兵器などはその顕著な例であり、人類は、過去の歴史において、そして現在においても、工学の誤った使用による不幸に度々遭遇してきている。そのような事態を防ぐためにも、工学を学ぶ者及び研究者は全て、その使用法を学ばなければならないのであり、技術の発達だけを追い求める研究馬鹿になってはいけないのではないだろうか。常に工学を人類の福祉と照らし合わせて考え、もし自分たちの研究していることがそれに反して使用される恐れがあれば、確固たる態度で未然に防ぐのは、研究者の使命といえるであろう。

私は、将来、すべての大学の工学部の講義で福祉工学が必修科目とされ、また福祉工学科なる学科が設置されることを、夢見てやまない。(ねむの木学園)

昔はかっこいい

67期 水口 禎

皆さま既に御覧になったことと思いますが、昨年9月下旬から長期にわたる国鉄の「ふくしま」キャンペーンの大型ポスター5枚のうちの1枚が「昔はかっこいい」というキャッチフレーズとともに母校旧本館が紹介され全国の国鉄駅に掲示されました。

昨年の母校創立100周年に先立つ昭和52年先輩方始め多くの方の尽力により国の重要文化財に指定され修理工事が完了しました旧本館の文化財としての価値については充分御承知のとおりですが、明治の学校建築のなかでの「かっこよさ」の位置づけについていくつかの蛇足を付けさせていただきます。



わが国の学校建築の本流はフランスの理性を最初に伝えた山口半六をもとにやがてつくられて来るわけですが、彼が明治中期に留学後短かい生涯をかけて活躍(旧制一高から五高までのすべてを設計)する前後から、当時国家的事業であった新学制にともない全国的に学校建築がすすめられつゝありました。

明治初年から小学校等は多くを地元負担によって建設されて行きます。小学校や母校の前身尋常中学校はそういう例であり、国の施設である高等中学校(後の旧制高校)以上は山口等の主導のもとに国の手でつくられて行くわけです。

そういう状況で当時つくられた全国の小学校、尋常中学校は設計者も不詳の建築が多いのです。当時の設計者・施工者はいわゆる洋風建築を手本として、見よう見まねの大変な努力をして学校をつかって来ました。そしてそのうちにある程度の平面・意匠について標準的な「指導」がなされて来た様子が見られます。

有名な例として松本の開智学校や郡山の金透学校、学校ではありませんが開成館等が明治初年に華やかな「意匠」のものがつくられます。

日立電線株式会社

<活躍中の桑野会メンバー>

新関 豊 (54) 根本重則 (89)
山崎 清博 (81) 本郷晃夫 (90)
渡部 陽一 (88) 大橋晴志郎 (77)
佐藤 二郎 (90) 八代誠司 (88)
古寺 裕 (65) 大越 一郎 (89)
内藤 清吾 (85)

電線・ケーブル・伸銅品・工業用ゴム製品
(光ファイバーシステム・電子機器用電線・電子材料)

日立電線特約店

日松商事株式会社

〒113 文京区本郷2丁目18番1号
電話 03 (814) 8 1 1 1 (代)

代表取締役社長 星 武夫 (第49期)

その後明治20年代になりますと技術的な蓄積の結果もあり、実質的な平面・意匠になって行き母校旧本館のような建築になる過程が見られます。中学校建築というある程度の規模の大きさもあったことと思われませんが、平面的には中廊下となり講堂が2階に（別棟という発想はなく、構造的にも1階よりは2階の方が容易だったといえたのかも知れません）意匠としては中央部に若干の「装飾」という地味なものになります。平面が中廊下になったこの時点で片廊下の時の装飾的なバルコニー（開成館等の例）は姿を消して行きます。

この形式がその後中学校建築等に普及して行くようです。隣の栃木県に残っている宇都宮中学校（明治26年）、真岡中学校（明治37年）も同じような平面・意匠であり、年代的にも「安積」がその当時の中学校建築の「ひな型」とされていたという可能性があります。今でいう標準設計のはしりでしょうか。特に宇都宮中学校（現宇都宮高校記念館）の2階講堂の内部は「安積」と雰囲気が大変共通しています。

明治30年代以降になりますと中学校建築等地方の建築にも中央の影響が現われるようにもなります。茨城県においては当時としては珍しく東京帝国大学工科大学卒業の駒杵勤治が県に入り、土浦中学校（明治37年）、太田中学校（同年）等の設計をする時代になりますが、その時は「安積」がプロトタイプになったとも思える中廊下、2階講堂という平面も姿を消すかあるいは形を変えて行きます。

明治10年代までに地元の棟梁等が悪戦苦闘してつくって来た華やかな意匠がその後手堅い、いくらか地味な意匠に変わっていく過程に「安積」が位置しているとも考えられます。

もし「安積」を始めとする同じような数少ない例が残されなかったならば、わが国の明治の学校建築は「装飾豊かな華やかな意匠」のものであった、と誤って歴史に書かれたかも知れません。文化財とは古い程価値があるという文化庁の考えは一応別にして、「安積」は以上のような意味でも重要な役割を果しているともいえるようです。やはり「昔はかっこよかった」のです。

建築に限らずものが正しく保存されるためには、第一にそのものが本当に価値あるものであること、第二にそういう時代背景を持つこと、そして最後に一番大事なことは、保存についての卓見を持つ人々の熱意でしょう。

以上のことは建築史特に明治建築の専門家である小山工専助教授の河東義之氏にお聞きしたことをもとにしております。「安積」の保存については地元で地道な研究を積重ねて来られた東北工業大学教授の草野和夫先生始め、改築の機運が持った昭和35年頃のいわゆる高度成長期（この時期に全国的に明治建築の多くが失われております。その危機感を持って日本建築学会が保存すべき明治建築のリストづくりを始めたのも昭和41年になってからです）に保存を打出された同窓会の有志の方々の時代に対する卓見と、何にも増して「安積」の価値を認識された上での「熱意」が最も大きな力であったでしょう、というのが河東先生の結論です。

ある夏の一日

67期 橋本 克文

卒業以来30年ぶりに母校を安積野に訪ねたのは、昨年の暑い夏の日曜日であっ

た。我々が机を並べた校舎は、今は、国の重要文化財とかで、日曜日であったとか、内部に入ることが出来ず残念であったが、なつかしい校門・校舎に直面したときには遠い昔の学生時代を思い浮べひととき、当時の感慨にふけたものでした。

我々が通学を始めた頃は新制学校制度に変わって間もない頃で、たしか3年生は中学と高校との両方を安積で過ごしていたところである。当時は、まだ、あの戦争の傷跡が残っており、物資は不足しており、昨今のように物の豊富な時代ではなく、必然的に安積風のパンカラが大手を振ってまかり通った時代であり、大抵の学生はやぶれ帽子に下駄ばきで通学していたものであった、が逆にスマートさにあてがれ、ズボンには折目をきちんと入れ、皮靴をはいたダンディボーイを売り物にした輩も一部には居たようだ。

当時の郡山の市街は麓山の浄水場で切れ、これから先は開成山の疏水事務所と所々に民家があるだけで、一面の畑と田圃で途中にはぶどう畑などもあり、のどかな田園での学生気分を十分に満喫したものであり、春には菜の花・れんげ草が咲き、五十鈴湖跡の土手には桜の花が爛漫と咲き乱れ、時には開成山の草競馬も催され、通学途中で花見・競馬見物も出来た時代であった。私は汽車通学をしていたこともあり、家から持参した弁当は早や弁で昼前には空になり、昼食の時間には学校の購売でパンをうばい合いで買って食べたこと（当時は早く買わないとすぐパンが売りきれとなった）、学校帰りにわざわざ迂回して安女の前をパンカラ風を誇示しながら、さくら通りを帰ったこと、等々学生時代のことがいくつも走馬燈のように思い出されて来た。が当時の教室内での勉強のことは不思議と思

帝人殖産株式会社

●マンション●賃貸ビル

●東京本社●〒100 東京都千代田区霞が関1-4-4 ☎(03)506-4940

□事業企画部長 水口 禎 (67期・高校6期卒)

い出の中に浮かんでこなかった。

現実に戻って見ると、校門及び我々の学んだ校舎は、当時とあまり変わっていないのがなによりうれしい思い出であったが、東入口の自転車置場そして南に廻り図書館等の建物がなくなっていたのがちょっとさびしい限りであった。また、現在の校舎になっているあたりは、昔の寄宿舎を改造した雨天体操場・当時の理科教室のあったあたりかと想をめぐらしたが、変り様はげしく、確かな位置関係をつかめぬまま、なつかしい桑野を後にした。

追記、その後、母校創立百周年記念東京桑野会総会に出席させていただき、安積時代の皆様がたの消息も知ることができ、またなつかしい人々との再会があり、楽しい一日を過ごさせて頂き、感謝しておりますと共に皆様の一層の発展をお祈り申し上げます。

安積の思い出

69期 佐久間武仁

私達の卒業したのは、昭和31年である。大半はウシ年で、私は早生まれなのでトラ年である。卒業以来、29年が過ぎてしまった。我が家には、男の子が二人居る。長男が20歳、次男が17歳になる。今春長男は、一浪で大学に合格し、一年生であるが、すでに自動車免許を取得し、私が車を使用しない合間を見計って、乗りまわしている。全く結構な身分である。やはり時代の相違なのであろうか。

私にとって安高の思い出といえば、それなりにいろいろあったが、あまり楽しい思い出ではなかった。高校2年になったばかりの時に、父の仕事がうまくいかず、授業料の納入が出来なくなってしまった。父からの家庭事情を記した手紙を

先生に渡し、育英資金を借りることになった。今でも忘れないが、当時、学校に納入する授業料等は月に830円、育英資金は月に700円であった。育英資金に130円を加えて納入すれば、授業料は難なく納められたのであるが、家庭の事情で、父に渡してしまった。結果的には、4ヶ月間授業料を納入しなかった。1日も早く、納入すべく父に頼んだが、それも出来ないほど、家計はどん底の状態にあった。そんな矢先、ある朝、登校した時に、職員室の廊下に黒山の人だかりがあった。何ごとだろうと思って走り寄ってみると、授業料滞納者の名前が発表されていたのである。文面は、はっきり覚えていないが、たしか、右の者、何カ月間、授業料滞納につき……。ついに来るものが来たか、いつかは発表されると思って覚悟はしていたが、自分の名前をそこに見つけた時、普段でも暗い旧館の廊下(今は重要文化財となっている)である筈なのに、その部分だけがスポットライトに当てられたかのように、はっきりと見えたように思われた。精神的につらい毎日が続いた。学業もあまり手につかず、成績も極端に下がったような気憶がある。しかし、無遅刻、無欠席で通学しとおした。卒業までのことは、はっきりとは覚えていないが、勿論、大学受験は断念したので、この頃の心理状態はおわかりいただけと思う。当時のホームルームの先生は、2年、3年と2年間、現在の校長である村上啓正先生である。

卒業と同時に東京に就職し、2年間で育英資金を全額返済した。そして、同期生が大学を卒業した年に、私は働きながら大学の門をくぐった。

安高を卒業してから、20年近くになるが、「安高」を出て、本当に良かったと思っている。諸先輩の築いてくれた伝統と誇

りが、ぶっしりと重く感じられる。「安高」の二文字が東京へ出てからの私の支えになった。幸い、同期の友が私のまわりでも大いに活躍している。時々、旧交を暖めているが、そこには、利害関係が全くないので遠慮なく、本音で話しあえる。時のたつのも忘れ、深夜まで杯を交わしてしまうことが多々ある。すばらしい友を持って幸せである。また、それらの友を世に出した「安高」に感謝している。

中国雑感

79期 横井 澄夫

私は、昭和46年外務省に入省し、その後、中国とのつき合いが比較的長く、最悪では昭和56年から約3年にわたって在北京大使館に勤務しておりました。因みに、安高で同期の橋本逸男君も私と同時に外務省に入省し、現在北京の大使館で勤務しております。

そこで、本稿では、この時期における私の経験を中心に御紹介し、皆様の对中国理解の一助にしたいと思います。なお、ここでは思いつくままに種々のエピソードを前後の脈絡なく御紹介することとします。この点あらかじめ御了解願います。

○ 中国人の子供好き

中国で生活していて最も印象深かったことの一つは、中国人の子供好きでした。私の北京赴任当時、私の子供(男)は一才半でしたが、中国の人々の彼に対する態度は、日本人のそれとは若干異質でした。

端的に言えば、老若男女を問わず、私の子供に対して非常に強い関心を示し、これを率直に態度にあらわしたというこ

FROZEN FOOD

五十嵐冷蔵株式会社

〒108 東京都港区芝浦 2-10-5

TEL 03 (451) 1111 (大代表)

テレックス 242-4442

常務取締役 吉田弘俊 (第52期)



とです。人の親ならば、自分の子供が他人の注目を浴びることについて悪い気はしないでしょう。このような中国民衆の子供に対する関心は、子供が外国人であろうと中国人であろうと、あまり違ったものではなかったようです。

これは、中国人が生来そういった民族性を有していることに起因するところもあるでしょうが、それと同時に、現在中国で実施されている「一人っ子」政策とも密接に関係があるのではないかと思います。中国政府は、人口の膨張をおさえるため、これまで、子供を一人に限定する政策を強力に推進してきており、この結果、中国民衆の子供は対する愛情は、一般的に極めて強められているのではないかと感じた次第です。

○ サービス態度

外国人が中国で生活する場合、例外なく悩まされるのが、中国人社会でのサービスの劣悪さです。これは、デパートの売場でも、食堂でも同じことで、過剰(?)サービスに慣れた我々にとっては、非常にショッキングな出来事と言えましょう。例えば、デパートの店員は客に笑顔を見せることはほとんどありませんし、買いたいなら売ってやるから勝手に買え、といった態度が一般的です。食堂では、なかなか注文をとり来ませんし、食事を注文通りに出さないことも珍らしくありません。

これで大抵の外国人は、「中国人とは不愛相でぶっくら棒だ」と頭から思い込んでしまう訳です。

実はこの点について中国のトップの指導部も十分に気付いており、最近では、サービス態度を改めるように指示を発出しておりますが、長年の習慣は一朝一夕では中々変わらず、頭の痛いところのようです。

このサービス態度の悪さの原因については色々と考えられますが、その最大のもは、中国人の親方日の丸意識です(中国語では「大鍋でご飯を食べる」と言います)。極めて単純化して言えば、どうせ働いても働らなくても給料は同じで、企業の倒産もない、という意識で、この結果、少しでもサービス改善して売り上げを伸ばそうという考えがほとんどなくなっているということです。(この点について中国政府は、企業間の競争原理を導入すべく、次々と積極的な施策を打ち出してきており、著しい改善が期待されている)。日本におけるようなサービス過剰にもときどき閉口しますが、それでも中国人はサービス面で日本に学ぶべき点は多々あるようです。

○ 中国人とケンカ

北京の街中でたまに中国人同士のケンカを目撃することがあります。たいていの場合黒山の人だかりがしていますので、現場はすぐに分かります。この中国人のケンカの仕方は、日本人とは随分ちがうので感心したことがあります。

中国人は、大抵大声でしかも早口で相手の非をあばき合います。私が最初にこのケンカの現場を目撃した時には、あまりの激しさに非常に驚き、これは刃傷ざたになるにちがいないと思ったものでしたが、中国人は通常手を出しません。むしろ、ヤジ馬に向って、ケンカ相手が如何に理不尽で悪いことをしたかを大声で訴える訳です。そのうちヤジ馬が、色々口をはさみ始め、その結果でケンカの勝負が決るようです。すなわち、口が達者でなければケンカには勝てませんし、更に暴力で相手をときふせるということは社会に受け入れられないのです。

このことは、中国の政治、外交のやり方を理解する上で、極めて示唆に富んで

おり(似た点多々あり)、興味深いことと感じた次第です。

○ 教科書問題

教科書問題について御記憶の方が多いと思いますが、この事件は、私が北京に赴任して丁度一年目ぐらいに突発しました。この問題は、大使はじめ館員の心身を極度に疲弊せしめました。私にとっても色々な意味で忘れることのできない事件でした。

幸いにして中国民衆による日本人に対する投石や嫌がらせは全くありませんでしたが、新聞、テレビでは連日過去の日本の中国侵略についての報道を行ってました。例えば、新聞、テレビなどで中国人の生首を手を持った日本兵の写真や、両親の死体の前で泣き叫ぶ幼児の写真、更に、大量虐殺の目撃談、生体実験についての証言等々が氾濫し、全く日本人としていたたまれないような毎日でした。正直言って、この時期私は多少の身の危険を感じ、子供の外出を禁止した程です。

この問題は、両国政府の努力もあって何とか大事に至らずに処理されましたがこの事件は、私にとって実に衝撃的なもので、改めて日中関係とは何かを深刻に考えさせられたものです。

この関連で一つだけ申し上げておけば、戦争は、被害者に対し、加害者が想像もできないような傷跡を残し続けるということであり、この意味で日中間の「戦後」は終わっていないという厳然たる事実があるということです。私は、このことについて日本人が負い目を感じるべきであると言っている訳では毛頭なく、むしろ、将来の日中関係を考える上で、このような不幸な過去を重大な教訓として心に刻みつけておく必要があるのではないかと、ということ率直な気持として述べておきたいと思う次第です。

 中外製薬

胃粘膜保護作用の

中外胃腸薬

60錠・120錠・220錠/36錠・72錠・144錠<携帯用>



松本幸四郎

CHU5541

友情と日本フィル

78期 山下 進三

私は、現在日本フィルハーモニー交響楽団というオーケストラでピオラを奏いています。日本フィルに入団したのは70年ですからもう15年もオーケストラの生活を続けています。

今から13年前、それまで日本フィルを運営していたフジテレビと文化放送が突然日本フィルの運営を放棄し、オーケストラを解散、団の全員を解雇しました。つまり私は首を切られたわけです。

争議状態に入った私たちは、とにかく自分達の音を守りたいと、自主運営で演奏会を作り始めました。以前は舞台に出ただけ音を出していればいいという生活から一変して楽団再建・首切り撤回のいわゆる労働争議と音楽会を続ける事は当時(13年前)の音楽界では考えられないことでした。オーケストラにとって最も大切な演奏会の1つである定期演奏会(これは私達の存在をしめす最大のコンサートで自己主張の場です)を続けていく事もたいへんな苦勞でした。その定期公演のプログラムの表紙のレイアウトをしてくれたのが同期の桜井君です。とにかく金もない事から彼をたよって『たのむ桜井』ということで、かなり長い期間無料で彼にこの仕事をたのみました。

争議は、さいわい昨年、裁判所での和解という形で終結することができました。このことは日本全国の日本フィルを支援してくれる聴衆の声が大きな世論となってフジテレビ・文化放送におしよせた結果です。

私たちは、現在財団法人を設立して自主運営を続けていますが、その演奏会の

70%は実行委員会形式の演奏会です。

実行委員会というのはその土地土地で日本フィルの公演を開くため、私たちの音楽活動に参同してもらい、ボランティアで音楽会づくりをしてもらうわけです。

言葉ではかんたんですが、オーケストラのコンサートを開くには約400万から500万の経費が必要ですから、何の経済的な保証の無い所では大変なことですし、実行委員の苦勞たるや筆絶にあらわせません。

しかし、この方式で須賀川で2年続いてコンサートを開くことができましたし、しかも2回目は地元の合唱団とベートーベンの『第九』をおこなうことができました。

今年の3月、郡山でも日本フィルのコンサートをとということで、私が青春時代を安積ですごした関係から、昨年の12月から準備に郡山をおとづれました。

市内の音楽関係者や、学校の先生・マスコミ関係と考えられるあらゆる巾広い層から『公演を成功させる会』の実行委員になっていただきましたが、何と、同期の阿部君が、金透きんとう小学校の音楽の先生で、(彼の指導するオーケストラが昨年日本一になっています)彼にもいそがしい中で実行委員になってもらっています。

3月におこなわれた日本フィル郡山公演は、約1,800人の入場者で、始めとしては大成功となりました。何とか毎年、公演を続けたいと切望しています。今年の公演は私は家内の病気の為、参加できませんでしたが、準備の為安高をおとづれた時(数学の村上先生が校長先生です)20年ぶりに校舎を見て、なつかしさに胸がこみあげました。

変な癖

58期 星 武典

睡くなる様な午後、税務調査の立会いを中断して私は洗面所に飛び込み顔を洗い乍ら、明後日に迫ったベルギー旅行の事を考えておりました。今度も各国の公認会計士仲間と食事をとらにゃならんなあ。又々、ワインを飲み彼等と同じ様な食事をと思った丈でも、又々睡くなる様な仕末です。私は体質上、少々アルコール分と食べ物を胃の腑におさめますと椅子に掛けた儘の姿勢でも30分位眠ってしまう良い癖もっているものですから、その事を考えただけでも今度の旅行は気が重くなった了うのでした。そんな折、ふと目にした一冊の本「とっさの外人接待術」(ジャパタイムズ編、G・フィールズ監修)を手にとり目次をめくりますと、食事の際の心得が書いてあるではありませんか。これはとばかりに、調査官の質問の途切れる合間に速読を始めました。フランクな相手でも食事の席では決して足を組まない。食事の席で髪に手を触れるのはタブー中のタブーとか色々私達日本人には参考になることが書いてあります。一気呵成に読み終り、と同時に無事税務調査も完了。

ベルギー国立博物館の裏手にある数百年も前の建物の中にあるメンバー制のレストランで国際セミナーの前夜祭が開かれ、カクテルパーティのあと各自テーブルに着席し愈々デイナーが始まり、各国の仲間と談笑しながら、虎の巻を頭に浮かべ乍ら無事済ませる事が出来ました。

セミナー終了の晩、ベルギー、西独逸、オランダの仲間の4人で気楽な食事をと、ベルギーの仲間ジョンの案内のまゝ、レス

有利さで選ぶなら

中期国債ファンド

1 カ月複利の効果で
いつでも一番有利



かい せい

借成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2
☎ (666) 1431 (大代表)

取締役営業統括部長 近内靖夫 (第69期)

トランに行き食事が始まりました。私に割り当てられた講演の7分間を乗り切った安堵感から、普通は飲まないワインを口にしながら、ジョンのすすめてくれたスープをとり愈々メーン・ディッシュになった処で、私の目蓋が牽牛織女の逢瀬の様に仲良しになってしまいました。それからが大変、虎の巻にない食事中の居睡りについての釈明を懸命に努め、3人の「緊張の後だから止むを得ないよ。今日は本当に御苦労さん」の労いの言葉を子守唄に約30分意識不明。

帰国後、監修者のG・フィールドさんとアメリカより来日された外人のお客さん、それからフィールズさんの会社の役員と一緒にダイナーをした別れ際に、「星さんの体質を知っているから別に気にしないよ」と、当夜の非礼をお詫びする私にやさしく言ってくれたフィールズさんの慰めの言葉に、最近では、私の悪い癖も国際的に認められないかなと自分を慰めています。余りの奇病（と自分では思っています。）にフィールズさんも食事中のエチケットの中には書かれなかったのかも知れません。でも、再版の時には書かれるかも。



ゴルフ談義

42期 澤田 悌

会報にはいつも固苦しい挨拶などばかりのせているので、時には少し趣を変えてもよからうと思ひ、漫談をいたします。たゞ、ゴルフをなさらない方には興味の無いことでもあり、又いきおい私事に亘ることも多いことなので、その点予めおわびを申しておきます。

私のゴルフは戦後では割合早い方で、昭和26年に初めてクラブを握り27年にコースに出たのだが、十分練習も積んでいなかったのてハーフ70もたゞき散々の初体験でした。以来30数年間ゴルフに取りつかれ、今迄コース出場回数2千回を超え、プレイを共にした人も数えきれませんが、まあ無駄と有益が半々ぐらいでしょうが、それなりに思い出も多いゴルフ人生です。もうあと何年楽しめるだろうかと思う年令になってしまいました。

私がゴルフを始めた頃は、戦後ようやくゴルフが復興しはじめた頃でまだのんびりしていた。私が霞ヶ関C.C.に入会したのは昭和27年だったが、入会も簡単だったし入会金も安く15万円だった。しかし戦前からの先輩ゴルファー達はキビシイもので、エチケット、マナー、ルール等について厳しく教えこまれたものです。最近はいへんなゴルフブームで、プレーヤーは1200万人を超えコースも全国で1500に上るといわれ、すっかり大衆スポーツ化した。それは結構なことだが、どうもプレーヤーのレベルが低下し、新聞や週刊紙の種になるようなげかわしい事実も少なくないようです。

私のハンディは、永年維持して来たシングルも数年来次第に下って今15です。

年のせいですね。昨年9月第3回東京桑野会のコンペに参加し、たいへん愉快なラウンドを楽しみましたが、スコアは43、44で自分ではママアの出来、4位でした。本年は4月18日第4回のコンペが御殿場の富士CCで行われ、午前中は雨だったが楽しい会でした。私の成績は89、ネット74で意外にも優勝でビックリしました。第2位は63期の大津さん、第3位は43期の鎌田さんだった。この次は私のホームコース霞ヶ関でやりたいと思っています。

年と共に飛ばなくなったことを痛感するが反面曲らなくなりOBも殆んどなくなった。進歩の止った証拠でしょう。飛ぶといえば米国人などは年をとっても猛烈に飛ばす。昨年米国のPeople to People Sports Communityという大統領が名誉会長をしている団体のゴルフチームが夫妻同伴で40人程来日、先方の希望で霞ヶ関CCに迎えて親善競技を行ったが、みんな70才前後のリッチマンで時差ボケで方向が定まらないといふながら素晴らしく飛ばす。距離ではとても及ばないのに同情したのか、私をMr Straightと呼んでくれた。

この頃は暇があると思われるのか、色々の方面からゴルフの誘いがかゝる。昨年6月一寸した手術をして夏中休養した頃、秋になったらと約束を重ねたら、10月に集中して11回コースに出た。これは少々オーバーでくたびれた。月5~6回というところがよいようです。変わった誘いではテレビでやってるグリーン放談というのに引っぱり出されて、藤原弘達さんとご一緒した。放談の前に2ホールだけプレーするのだが、最初のホールは2人共ティーショットは真中程。セカンドは弘達さんが先に打ってチョロ、私のグリーンに近く好位置。このホールは4と5だった。次のショートホールは2人

ど〜んと有利で出し入れ自由

中期国債ファンド

- 1ヵ月複利
- 手数料なし
- 出し入れ自由
- 適格

第一証券

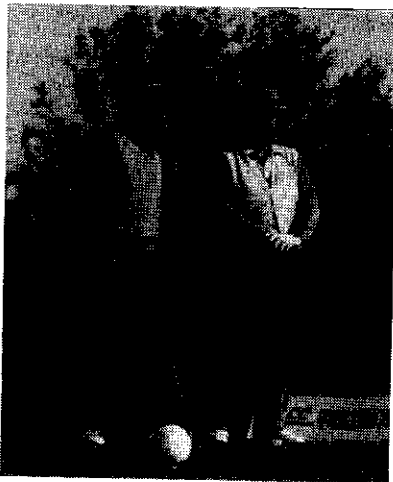
本店・東京 日本橋 三越前
☎(03)244-2611
全国主要都市39店舗
海外/ロンドン・ニューヨーク・香港

設定運用は第一投信
お申込みの際は受益証券説明書をご覧ください。

共1オンしたが、私のより大分遠く15mもあるロングパットを弘達さん1パツで沈めバーディとは恐れ入った。私は3。彼は嬉しそうにして、中曽根さんに“君は格好はよくないが勝負強いね”といわれたんだとご気嫌でした。

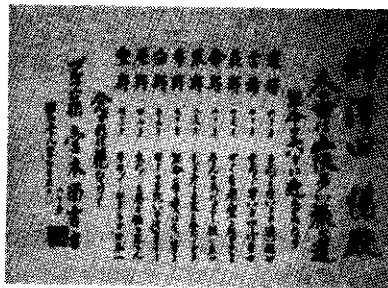
永年ゴルフをやっていると初心の人から“ゴルフ上達の秘訣は”とよく聞かれます。私の経験から言えば、最初の1年か2年の間にしっかりとつめて練習することが最も肝要なようです。これは他のスポーツでも芸事でも同じでしょう。又プレイの時の心構えとしては最初から己れを空しうしてかゝることが大切です。ゴルフとは何かといえば、ボールを打って何百米か先の小さい孔に入れるだけのゲームです。だから先ずそのボールの身になって考える。その状態を看、それをどこに飛ばしてゆくかを考え、その目的に適したクラブを選び正しくアドレスすれば自づとクラブのシャフトの位置が決まる。それを正確に握れば最後に自分のプロパースタンスが決まるという順序が大切なわけです。己れが先にたつとこの順序が逆になってどうもうまいかないようです。

と同時に目先のボールにばかり気をと



られないで、ゴルフコース全体に目を配る必要があります。名手トミー・アーマーはコースをプレイせよと言っています。彼の本によると、Courses are like women ; They are all different. They are delightful or devilish, depending on how well you know how to play them. とあります。course も woman も良く似ていて、どちらもプレーの仕方によって非常に楽しくもなれば悪魔のように手におえなくなるといふことらしい。どうもトミーはその道にかけても隅におけないプレーヤーのようです。

いずれにせよ、せいぜいゴルフを楽しんで元気に人生を終りたいと思う昨今ですが、一昨年日本のプロゴルフ界の先達宮本留吉老から一書を贈られました。ゴルフ一筋に生きた彼80才の時、人の世は山坂多い旅の道だが60才(還暦)が過ぎてお迎えが来たら”とんでもないと追い返せ”に始まって、古稀(70)は“まだまだ早いとつばなせ”、喜寿(77)では“せくな気楽これからよ”という順で傘寿(80)米寿(88)と続き、卒寿(90)で“年令に卒業はない笑よ”、更に白寿(99)茶寿(108)から皇寿(111)が最後で“そろそろゆづろるか日本一”と書いてある。とてもこなわけにはゆきませんが、せめて傘寿ぐらいまではクラブを握って楽しみたいと思っております。皆さんの球寿長久を祈ります。



「ガラスの動物園」 公演あとがき 63期 大橋 力雄

それは目白椿山荘で開かれた母校百周年記念東京桑野会の宴席ではじまった。四百名近くの出席者でどよめく会場で司会の星武典幹事が頃あいよく一同に紹介したのが我等が同期(63期)の新劇演出家中城まさお君とその夫人、安積女子高出身の女優、中山さち子さんだった。二人は安高、安女卒業直後からのつきあいで、ともに演劇を志し、数年後結婚し、さらに数年を経て劇団新芸術を結成、新劇の中枢部で活躍し現在に至っている。その夫妻が、東京日本橋の三越ロイヤル・シアターと、郡山市に新設された市民文化センターで連続公演を行うという。それが母校百周年実行委員会の後援行事となり、安高、安女の同窓会も協賛し、恩師、旧友もあと押しをしているという。東京では同期の大津隆幹事から竹花幹事長、古川副幹事長、さらには沢田会長はじめ全役員に協力を仰ぎ全員が力を貸して下さっているという。司会者は手短かにそれらのいきさつを紹介したあと、歌手でもある中山さんが挨拶がわりに歌を一曲披露することを告げた。東京桑野会で蜜声ならぬソプラノが聞かれるのははじめてである。中山さんは懐かしいシャンソン「パリー祭」を歌った。その月七月十四日がパリー祭当日だったのだ。全員の暖い拍手に送られて壇を降りる中山さんはその時百周年記念「ガラスの動物園」公演の成功を深く心に誓ったにちがいない。

九月八日、母校での百周年記念大式典には中城君自身が出席し、ここでも数々のはげましの言葉を受け、また、式典当

水廻り住宅設備機器の 総合卸商社として40年

●主な業績

- ・日本で初めて水塹防止機器を開発・発売(昭和45年)
- ・日本で初めてシステムキッチンを輸入・販売(昭和48年)
- ・日本で初めてビルトイン機器を輸入・販売(昭和52年)
- ・業界で初めて総合情報サービス業務を開始(昭和58)

TOTO 特約店

トカラ 代理店

その他一流住宅設備機器総合取扱い

M 株式会社 **マルシマ**

〔本社〕 東京都中野区中央1-28-2 ☎03-363-8111
〔営業所〕 西荻窪、スミダ、新宿、府中、甲府、戸田、埼玉、小山、千葉、横浜、大阪

日から公開された安積の誇る国の重要文化財、旧本館の展示室には彼の演劇活動の軌跡が写真その他で展示されていた。

十一月七日の三越公演の初日、主催者は来場者数いかにと心配していたが、開演の数分前、劇場ロビーは各界名士をはじめ男女観客であふれた。それは千秋楽まで続き、一日あたりの入場者数では開設以来の記録をつくった。同期生菅野寿夫君の口ききもあって三越社長も楽屋を訪れた。お客さんのうち何人位が桑野会関係者であったか主催者も確かめるすべもなかったが、或る晩は東京桑野会役員が沢田会長以下ほとんど全員で総見された。中城君自身ひそかに期するところのあったスピーディな演出で、アメリカのテネシー・ウィリアムズの数十年前の作品が見事に現代に息づき、カーテンコールの拍手は鳴りやまなかった。

続いて十二月二日、郡山市民文化センター公演。新設の会場は東京の劇場にまけぬ格式を備え、客席も広い。会館の副館長である同期生、荏原文郎君が事務室のモニターに写るロビーの人のむれを見て思わず「これはいける」と叫んだ。郡山の新劇公演では空前の百二十パーセントの入場者。終演後は拍手と花束がステージにあふれ、その様子は翌日の新聞、テレビに大きく扱われた。翌日中城夫妻は各方面へのお礼まわりをすませ、特に当初の計画通り入場料の益金の総額を百周年実行委への寄附金として村上現校長のもとに持参した。

本年四月十六日、再び椿山荘での総会。竹花幹事長は昨秋の百周年記念公演の成功を報告し、あらためて中城夫妻を紹介した。昨年の「パリー祭」の歌にはじまったこともあって、さち子夫人はお礼の心をこめて、これも懐かしいシャンソン「私の心はヴァイオリン」を歌って壇をおり

た。

私の専門である税理士業務からみると、芸術の道を生活の途に結びつけることは、極めて難しい。特に日本の現状では、演劇活動の企業化は、至難のわざだ。この困難な途に中城夫妻が敢然と半生をかけて立ち向っている姿は、誠に美しい。

想えば、遥か昭和二十二年中学四年生の夏休み、私は今は亡き郷喜一先生（英語担当）が発案された、秋の学校祭のための英語劇「王様万歳」の公演に、演出を委ねられた。同期の選りぬきの俊秀たちと、何ヶ月かかけて作品を創り上げ、学校祭に花を添えたのが昨日の事のように想われる。その時のヒロイン役が中城君であった。あれから三十有余年。彼の今日の成功を思うとき、生涯の友としての私の喜びは、筆舌に尽くし難い。

ここに、心から応援して下さい桑野の仲間、感謝と敬意の念をこめて、「公演のあとがき」の筆をおく次第である。

◆ 訃報

壁谷祐之氏 (31期)

名誉会長、前会長。59年12月25日、病気のため急逝。鶴見総持寺にて葬儀が行なわれ沢田会長、竹花幹事長ほか役員多数が参列した。

佐藤喜一氏 (38期)

顧問、元副会長。60年6月24日、病気のため急逝。麻布善福寺にて葬儀が行なわれ沢田会長、竹花幹事長ほか役員多数が参列した。

表紙の絵は常任幹事佐藤義重氏(50期)のスケッチです。

事務局便り

◎ 60年度総会で沢田会長が再任され新役員も決まりました。役員一同沢田会長の言われたように一層「みんな仲良く、楽しい会に」してゆきたいと張り切っております。

◎ 総会では満場一致で年会費を2千円に改訂していただきありがとうございました。これまで会報の作成費や発送料、総会の案内状の印刷や通信費などの捻出に苦慮していましたので、これからは大変助かります。

なお未納の方は同封の振替用紙を用いてお振り込みご協力のほどをお願いいたします。

◎ 創立百周年記念東京桑野会会員名簿（名簿千500円、送料350円）はまだ残部があります。ご希望の方は事務局へお申し込み下さい。

◎ 同じく記念ネクタイピン(3,000円、桜と桑の校章をあしらった素敵なデザインです)も僅少ですが残りがありません。お申し込みは同じく事務局へ。

◎ 名簿の誤植、脱漏ならびに転居等による名簿の訂正事項等を事務局へご連絡下さい。

◎ 会の運営につきご意見ご希望がありましたらどしどし事務局へお寄せ下さい。

◎ 最後に、この程当会事務局が下記に変更になりましたのでよろしくお祈りします。

〒101 千代田区内神田2-10-2
不動前ビル5F
星公認会計士事務所内
東京桑野会事務局

03-254-8531

事務局長 星 武典 (58期)

ゆとりと信頼の **ワリコー** を発行元の興銀で。

- 1年満期
- 税金は16%
- 確定申告不要

- 中途換金可能
- 無記名式

日本興業銀行

池袋支店

〒170 東京都豊島区東池袋1-12-1
☎ (03) 982-0111

編集後記

昨年秋と今年春の叙勲の中に2人の先輩が夫々勲一、二等に輝いた。まことに御同慶の至りです。母校の偉大さをしかと更めて教えられた。感動です。御二人の今後の益々の御活躍をお祈りします。

総会に毎回元気で御出席戴く最年長の後藤先輩から長寿の秘訣7ヶ条を書いて戴いた。明治37年6月1日生あと15年で3世紀に亘り元気に生き抜く野望ありと明言されます。是非の成就を祈ります。

風船爆弾考案者お元気博士の荒川先輩御逝去の新聞を見て驚ろいた。前の週に会報へ執筆をお願いに参上し御快諾を戴いたばかりなのに。代田の大きな戦前からの家の玄関までお見送り下さった先輩の姿が目頭にうかびます。

大正の鍵っ子でおとなしいお隣りの娘さんと未だに一緒に暮らして居ますという津田さんの心あたたまる話、著者も同じ鍵っ子だったのでうらやましいかぎり。

「福祉工学」という耳新しい言葉に不勉強なだけではすまされない気持ちで梅津さんの原稿を読ませていただいた。年をとるだけのことで何んとかごまかす方法を心得た心得ちがい、はづかしいかぎりです。宮城まり子先生のねむの木学園で全力投球しておられる梅津さんに最敬礼。100名の声援をお送りします。

本稿の終りに佐藤喜一顧問の御逝去の知らせをうけた。元副会長として長い間会の発展のため御盡力をいただき本当に有難うございました。葬儀は岸元首相も直接御焼香に見えた程の極めて盛大なものでした。御冥福をお祈りいたします。

今度も桜井事務所に大変お世話になりました。早く会の事務所を持ちたいものだと痛感しました。(長谷川)

貼れ、のち、晴れ。

セイヨウトチノミエキス

自然の生んだ新成分、抗炎症生薬を配合。

肩こり・うちみ・ねんざ・筋肉痛に

三共シツプ-A



爽快に、新発売。



10枚入
5枚入



ローレルバレイ
カントリークラブ
理事長

関口 正

在京桑野会の皆様御健勝そのものにて、各分野に御精進のことと拝察致します。

さて、旧安積中学 現安積高校を育てて来た郡山市は御承知の躍進と発展を見せつつ、人口も30万を超え、今は開成山が市の中心部に位置して昔日の面影もない程著しい変化を見せて居り、更に新幹線の開通に伴って益々経済文化の交流が旺んになるであろうことを認識し、その導入の為、政財界新らしい構想を閃りつつ努めて居ります。しかし、こうした変化はありますものの、郡山の中心部を除いた周辺には未だ安積野の名残りが見られ、たくましく生きる農村においては脈々と続いて居りますことに心強さと、そして、緑と水の安らぎがあることは心嬉しい思いも致します。ここで敢て御紹介させていただきますのは、郡山西南部二穂田地区に隣接して居りますところに岩瀬村が御座いますが、広く言えば安積野の範疇に入るところで、郡山より20分、須賀川よりは15分、道路も良く整備された地域内に、ローレルバレイカントリークラブが創設以来九年を閲し、名実共に県内に於ては名門と称される迄に充実した27ホールの豪快なコースが御座います。芝も美事に生育して、今は時鳥、閑古鳥、そして、美しい小鳥の音が青葉がくれに聞え、妙見山と称する風情も又一入で春夏秋冬共に自然と調和した美事なコースでございます。そしてクラブハウスもよく整美されて郡山の一角が展望出来、ロッヂもテニスコートも、目下建設中で八月完成を期して居ります。しかも、当地は新鮮にして美味な岩瀬胡瓜の生産地でもあり、地方の手作り豆腐、本物の手打そば、そして季に応じたたらの芽の天ぷら、筍茸等、殊に初茸等は珍らしいもので御座いましょう。これらの野趣に富んだものを留意して味覚も楽しんでいただくこうと配慮致して居ります。

このように、安積野の名残りを満喫出来るコースに是非御来駕いただきたい、在学時代をお偲びいただければ幸甚と御挨拶を兼ねて御案内申し上げる次第でございます。

関口正(44期卒、旧姓宮本 開成山大神宮生まれ)

7時、上野。9時、ティーオフ。



●上野から100分(東北新幹線、郡山より車利用)
浦和ICから140分(東北自動車道を利用)
みちのくの名門コースと評価の高い《ローレルバレイカントリークラブ》。152万㎡の雄大な27ホールと多彩な景観美は、いままた楽しさをひろげます。東北新幹線で上野から100分(郡山より車利用)。もう東京の郊外といった感覚です。来月にはホテルも完成。テニスコートなど充実した設備、お迎えいたします。ローレルバレイはもう、あなたのファミリーコース。同じ時間をかけるなら、ゆつたりプレイできる方がいいですね。

●視察プレイも、お気軽に。
ローレルバレイカントリークラブの魅力は、一度プレイしてみればお分りいただけるはず。大自然のふとりにいだかれた、雄大で変化に富んだコースレイアウトです。お気軽にお問い合わせ、お申し込みください。

〈コース概要〉

- 所在地/福島県岩瀬郡岩瀬村大字守屋字南高松22-35
- 総面積/231万㎡(内152万㎡をコース) ●コース設計/金子安三 ●施設設計/株式会社岡田新 設計事務所 ●コース施工/佐藤工業株式会社 ●コース規模/27ホール 9,449m パー108、練習用グリーン4面/練習場15打席 300m ●クラブハウス/延床面積2,149㎡ ●駐車場/300台 収容可能 ●開場/昭和51年7月 ●現在会員数/800名 ●新規計画/43万㎡の遊休地を利用、リゾート観光地を開発。温泉、ボート、魚釣り、森林浴、研修センターなどを予定。

〈交通〉

- 〈東北新幹線と車利用〉
- 上野駅→ローレルバレイC.C. 100分
- 〈東北自動車道利用〉
- 浦和IC.→須賀川IC.約120分(193.7km)
- 須賀川IC.→ローレルバレイC.C.約15分(11km)

豊久興産株式会社

本社/〒104 東京都中央区京橋1-16-10 東京エステイトビル8F
コース/〒962-03福島県岩瀬郡岩瀬村大字守屋字南高松22-35 ☎(024865)3131

●お問い合わせ

☎03(567)4651

個人正会員300万円・300名募集

YOUR HOME COMING COURSE

